

美しが丘地区

美しが丘地区は、青葉区の北東部に位置し、1960年代の開発当初から住民がまちづくりに積極的にかかわってきました。遊歩道や街路樹、公園などの地域資源をいかし、緑豊かで誰もが住み心地の良い地域をめざしています。地区活動では学校や商店街・企業と連携して様々な取組を進めているのも特徴です。また、盆踊り大会や桜まつり、防災イベントなどを地域全体で取り組むことで、住民や団体同士の“つながり”をつくっています。



地区内の町丁目 美しが丘一丁目、美しが丘二丁目、美しが丘三丁目

第4期計画の振り返り

- 「子育て支援ライブ」や「子育てひろば」など子育てに関する活動をひろげることが出来た。
- 民生委員による高齢者を対象とした「美しが丘おたのしみ会」での交流を楽しみにしている人が多い。また地域での見守り活動としても、さらに充実をすすめている。
- 「美しが丘公園落ち葉清掃」は、活動が定着し、公園を利用する多くの団体が参加することによって交流が図れた。
- 移動販売が「買い物+交流の場」になるといい。買ったものを自宅まで届けるボランティアがいる。
- 20～50代の働き世代は、仕事や子育てが忙しいがイベントの参加者やボランティアも増えている。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、スポーツ推進委員、老人クラブ、学校・地域コーディネーター、たまプラザ連合商店会、まちぐるみの子育て(子育て支援団体)

担当地域ケアプラザ:たまプラザ地域ケアプラザ

地域で行われている活動



子育て支援ライブ



美しが丘おたのしみ会



美しが丘公園落ち葉清掃

めざしたいまちの姿

「美しが丘」らしさにあふれたまち

(※)「美しが丘」らしさとは：

みんなが自分らしく自由で、自立した心豊かな暮らしをめざすこと。時には一人で、時には仲間と。互いにつながり、支えあう暮らし。

目標1 親も子どもも笑顔になる子育てができるまち

取組

- 子育て中の親が育児を少し楽に感じられるようなきっかけづくりに取り組む
- 子どもから高齢者まで多世代交流の取組を引き続き活発におこなう
- 地域での思い出作りを意識した季節のイベントを企画し開催する
- こどもの成長に応じた地域の居場所や交流の機会をつくる
- こどもを地域全体で見守り、親が安心を感じられる取組をおこなう

目標2 高齢者の「好き」が見つかるまち

取組

- 様々な活動の情報をわかりやすく周知する
- 交流の場を兼ねた健康づくりの取組をおこなう
- 外出が難しい人も参加できるよう工夫する
- 新しい趣味との出会いや自分の経験を活かせるような機会をつくる

目標3 まちを楽しむ仲間が集うまち

取組

- 住民同士のつながりが持てるような場所・機会をつくる
- 活動団体が情報共有し、地域のことについて話し合い、ネットワークを広げる
- お祭り等を楽しみながら、新たな担い手を増やしていく
- 地域に根付いた行事等を継続していく